

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人 一条協会】 事業所名 【障害児入所施設 わかふじ寮】  
 【児童発達支援センター わかふじ】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし		16		35
床下浸水	0.5m 以下			4
床上浸水	1.0m	4		3
木造家屋の半数が全壊	2.0m	1		
木造家屋の殆どが全壊	3.0m	1		1
2階建ての建物が水没	5.0m 以上	1		3
3階建ての水没	10m以上	2		
合計		25		46

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・中・**低い**）

浸水…津波による浸水の危険性は低い。

建物破損…倒壊の危険性は低い。ガラスや蛍光灯が飛散する恐れがある為、飛散防止シートや蛍光灯からLEDに替えるなどの対応を検討中。

② 進入道路等の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）

津波により施設周辺の道路が浸水する可能性あり。

3. 準備状況（施設利用者 40 名、職員数 16 名、計 56 名）

① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有**・無

電気	懐中電灯及び予備乾電池×7 自家発電装置(三菱電機PG45M) 発電機×2・投光器×1
燃料	自家発電装置(三菱電機PG45M) 1時間分の燃料。 公用車の燃料半分を切らないように給油している。 発電機稼働可能時間 48時間分 保存用ガソリン 1L×3
ガス	カセットガス 40本 カセットコンロ防災倉庫に1台+食堂に9台
飲料水	168L (500ml×144本 20×48本) 受水槽(16m <sup>3</sup> )

	プール(中村特別支援学校)、井戸(安並、蕨岡地区等)、川の水を利用する浄化ろ過装置配置。
生活用水	382L (500ml × 144本 20 × 119本)

② 非常食糧・医薬品等の保有状況(主食、副食、医薬品、他) 有 ・ 無

主食	クラッカー30食×18箱 キノコご飯(アルファ化米)50食×3箱 パン48食×2箱	非常食:56人3日分
副食	チキンシチュー30食×18箱	
特別食	無	
定期薬	概ね一か月分	
医薬品	救急セット30人分	

③ トイレの準備状況

非常用トイレ×10(100回分)

トイレダスト回収バック×10

④ 通信手段(無線機、衛星電話機、安否確認システム、他) (有) ・ 無  
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	ワイドスターII
MCA無線	無
無線機	無
安否確認システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝言ダイヤル</li> <li>・携帯電話、自宅電話で連絡</li> <li>・携帯メールおよびSNSで連絡</li> <li>・Twitterで連絡</li> <li>・フェイスブックで連絡</li> </ul>
その他	

⑤ 利用者情報の管理方法(障害に対する留意事項、服薬含む) (有) ・ 無  
紙資料、パソコン内

⑥ BCP策定の有無(利用者の安否確認含む) (有) ・ 無

⑦ おすすめの備蓄品、整備品(簡単に理由もご記入下さい)

残念だった備蓄品、整備品(簡単に理由もご記入下さい)

- ・衛星電話を整備しているが接続が不安定なため、高機能の機種への変更を検討中。
- ・LPガスを燃料とした発電機の導入を検討中。
- ・パーテーションが薄いので、しっかりした素材の物への変更を検討中。

4. 避難場所

本施設内プレイルーム（津波時は2Fプレイルーム）

5. 福祉避難所の指定

・受けている      ・受けていない

①福祉避難所の指定を受けている場合、福祉避難所の開設や運営に関する訓練や取り決めがあれば  
ご記入下さい。

・福祉避難所開設訓練を実施する予定。

以上

記入担当者：安楽 龍徳

1 p 発電機  
パーテーション